

「チリンチリン♪～風鈴で夏の暑さを吹っ飛ばそう!～」

夏季キャンプ

名古屋北斗地区 名古屋第101団 団委員 西野 真佳

名古屋巽地区 名古屋第47団 CS副長 山口 理恵

8月26日、名古屋市立苗代小学校にて、「放課後児童健全育成事業」(トワイライトスクール)が開催され、地区ローバー中心に夏休み中のスクールに参加した児童にペットボトルでつくる風鈴づくりのプログラムを提供した。(8/19中区松原小学校でも実施。)初めに普段捨てている材料を使うことの意味や環境について話をした後、スカウトたちが思い思いに風鈴を作る児童(56名)をサポート。最後にローバースカウトはボーイスカウトに関するクイズを用意。正解と思う番号で児童は完成したばかりの風鈴を鳴らした。風鈴の音とともに、正解した児童の歓声や、驚きの声が教室に響き渡った。これからも地域とボーイスカウトが関わり合って地域に必要な活動をどんどんしていきたいと思った。

8月13日から16日にかけて、長野県大鹿村にある指導者の実家で舎営をしました。名古屋とは違い朝夕の涼しさ、新鮮な空気を感じました。又、家のすぐ横には川があり、川遊びには満喫できたと思っております。

全日程天候に恵まれ、小渋ダム見学・モルックのゲーム・魚つかみ・花火大会見学等、そしてスカウト達が協力し、おにぎり作り・牛乳パックを使ってのカンガルー焼きとホットドックも作りました。

このキャンプを通してスカウト達が協力し、助け合う体験ができたものと思っております。来年は何処へ行くのかな? 楽しみです。



夏の活動に向けて

北アルプスの山々を前に、大苦戦!?

名古屋西部地区 名古屋第19団 カブ隊長 谷口淳志

名古屋千種地区 名古屋第66団 カブ隊副長 高橋宏彰

8月9日から8月10日にカブ隊・ボーイ隊合同で長野県南木曾町柿其溪谷近くの古民家を借りて宿泊をしました。ペットボトルとスチロールの板を組み合わせてイカダ作りにチャレンジ。近くの小川に浮かべて出来栄を楽しみました。

古民家ではうどんを粉から作りましたが、コシがありすぎて思い深い体験になりました。

7月19日から21日にかけて3日間、66団カブスカウト隊は長野県の白馬五竜で夏季舎営を実施しました。2日目には標高2007mの小遠見山山頂を目指してトレッキングに出発。北アルプスの壮大な景観に驚愕しながら登っていくものの、道中の不安定な石の階段や狭い登山道、快晴故に照りつける陽射しにスカウト達は苦戦。それでも、上空を舞うパラグライダーやすれ違う登山客の方々に励まされ、2時間かけて山頂に到着。

山頂の登山客の方々に祝福されながら、スカウト達は満面の笑みを浮かべていました。

